

シラバス

2026年度版



鍼灸マッサージ東洋医療科 3年A組

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	鍼灸理論Ⅱ(半期)	曜日・時間	前期) 月曜日 9:00～

【授業概要・目標】	
①はり・きゅうの基本知識の習得。	
②はり・きゅうのリスク管理の習得。	
③はり・きゅうの治効理論を理解するための生理学の復習。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	4/13：1～3章(概論/鍼基礎/刺鍼方式)
2	4/20：4～6章(特殊鍼法/灸基礎/灸術種類)
3	4/27：7章(リスク管理)
4	5/11：確認試験Ⅰ(1～7章)
5	5/18：8章【2. 生体の調整_No.1】
6	5/25：8章【2. 生体の調整_No.2】
7	6/1：8章【2. 生体の調整_No.3】
8	6/8：8章【3. 感覚_No.1】
9	6/15：8章【3. 感覚_No.2】
10	6/22：8章【4. 熱傷(炎症)No.1】
11	6/29：8章【4. 熱傷(炎症)No.2】
12	7/6：8章【5. 体表の反応】
13	7/13：確認試験Ⅱ(8章)
14	7/27：前期内容のまとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	8/3：評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	小テスト(20%)＋確認試験Ⅰ(20%)＋確認試験Ⅱ(20%)＋定期試験(40%)の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	・小テスト(20分)→講義(70分)で進める予定。 ・「教科書」と「スライド」を併用して講義をする予定。
注意 (学生に望むこと)	講義内容は必ず復習をすること。分からない言葉はまず自分で調べてみる こと。
テキスト・参考書	『はりきゅう理論(第3版)』

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	専任教員 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	臨床実習Ⅳ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限

【授業概要・目標】	
①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備(補助)ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	萱場 公雄	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	関係法規	曜日・時間	火曜日 9:00～

【授業概要・目標】
 保健医療福祉制度の中におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の位置付けや職業倫理について理解を深める。生涯を通じて、健康や障害の状況に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養うことを目標とする。
 医療法、医師法等の医事法の体系の中での「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」、社会保障法、社会福祉関係法について学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	関係法規入門(1) 関係法規とは、関係法規と医事法(学)
2	(2)法の概念,法の領域,法の存在形式
3	(3)法秩序の構成原理,法の解釈
4	医療法(1)医療法の概要,医療法の目的, 医療提供の理念,医療関係者の責務
5	(2)医療提供施設の種類と定義, 類似名称の使用制限
6	(3)医療提供施設の要件, 法定人員,構造設備の基準等
7	(4)医療提供施設の管理監督等, 医業等の広告の制限
8	(5)医療計画,医療法人,地域医療連携 推進法人,医療審議会,地域保健法
9	医師法(1) 医師法の概要,資格法,臨床研修
10	(2)業務法,医業と医業類似行為
11	(3)義務法,罰則,秘密保持義務
12	他の医療関係者に関する法律(1) 歯科医師法,保健師助産師看護師法, 診療放射線技師法,臨床検査技師等法
13	(2)理学療法士及び作業療法士法, 視能訓練士法,言語聴覚士法, 臨床工学技士法
14	(3)義肢装具士法,救急救命士法,歯科衛 生士法,歯科技工士法,柔道整復師法 医 師と他の医療関係者の業務の関係, 名称独占と業務独占
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	あん摩マッサージ指圧師,はり師,きゆう師 等に関する法律(1)法律の沿革,法定の 目的,指定試験(登録)機関の指定
2	(2)指定試験(登録)機関が試験(登録) 事務を行うときの規定の適用
3	(3)免許,免許の取得と取消,名簿, 登録事務,学校・養成施設,試験
4	(4)施術者の業務,守秘義務等
5	(5)施術所に関する規制,広告の制限, 免許取消と業務停止
6	(6)罰則,両罰規定
7	(7)医業類似行為とその規制, 医業類似行為に関する判例
8	その他の関係法規(1)-予防衛生法規,薬 事関係法規-感染症の予防及び感染症 の患者に対する医療に関する法律,予防 接種法,医薬品医療機器等法,薬剤師法
9	(2)-保健衛生法規-健康増進法,母子保 健法,母体保護法,精神保健及び精神障害 者福祉に関する法律
10	(3)-社会保障関係法規-健康保険法,高 齢者の医療の確保に関する法律, 介護保険法
11	(4)-社会福祉関係法規-社会福祉法,生 活保護法,老人福祉法,児童福祉法
12	(5)障害者基本法,障害者の日常生活及び 社会生活を総合的に支援するための法 律
13	(6)身体障害者福祉法, 知的障害者福祉法,発達障害者支援法
14	個人情報保護法
◆	後期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期、後期の筆記試験による評価。前期試験は、記述問題と選択問題、後期試験は、国家試験に準じた選択問題とする。
授業の進め方	講義方式。医療六法の条文を読み理解する。
注意 (学生に望むこと)	授業中の私語は厳禁とする。基本的なマナーを守ること。
テキスト・参考書	必要に応じて、レジュメを配布する。 医療六法令令和8年版(必携) 前田和彦監修 関係法規 医歯薬出版

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	吉本 豊 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	リハビリテーション医学	曜日・時間	火曜日 10:40～

【授業概要・目標】	
テキストに沿ってリハビリテーションの概念を身につけて、グローバルな視点から患者様の状態を把握できるように知識を身につけてもらいます。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション リハビリ医学1. 2
2	リハビリ医学3. 4
3	リハビリ医学5. 6
4	リハビリ医学7
5	診断・評価学1. 2
6	診断・評価学3. 4
7	検査・測定1. 2. 3. 4. 5
8	各論1. 2. 3
9	各論4. 5
10	各論6. 7. 8
11	各論9. 10. 11
12	治療学1
13	治療学2. 3. 4
14	治療学5. 6
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	運動器疾患 上肢
2	運動器疾患 下肢
3	運動器疾患 脊椎
4	脊髄損傷 切断
5	関節リウマチ スポーツ損傷
6	脳血管障害 パーキンソン病
7	脊髄小脳変性症 筋萎縮性側索硬化症
8	末梢神経障害 ポリオ
9	虚血性心疾患 呼吸器疾患
10	糖尿病 腎・尿路疾患
11	がん
12	高齢者疾患
13	小児疾患
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	テキストの内容を理解し、表現する事が出来ているかを評価する
授業の進め方	動画や画像を多用して、言語内容をイメージ化しやすいように進める
注意 (学生に望むこと)	予習・復習をやり込んで、テキストの内容に慣れるように努力する
テキスト・参考書	新版 リハビリテーション医学(第1版)

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅰ	曜日・時間	火曜日 13:00～

【授業概要・目標】 現代医学の病名を東洋医学の視点から把握できるようにする。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	疼痛
2	頭痛・顔面痛
3	関節痛・頸肩腕症候群①
4	頸肩腕症候群②・上肢痛①
5	上肢痛②・肩関節痛
6	国試問題(上肢)
7	腰下肢痛・腰痛①
8	腰痛・下肢痛①
9	下肢痛・膝痛
10	胸痛・腹痛
11	国試問題(下肢)
12	疲労と倦怠感
13	発熱・冷え・のぼせ①
14	のぼせ・浮腫・掻痒感
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の範囲確認
2	顔面麻痺・歩行異常①
3	歩行異常②・口喝①
4	口喝②・出血傾向①
5	出血傾向②・小児特有症状
6	老年特有の証候 (第4・6・7節の国試問題)
7	国家試験対策①
8	国家試験対策②
9	国家試験対策③
10	国家試験対策④
11	国家試験対策⑤
12	国家試験対策⑥
13	国家試験対策⑦
14	国家試験対策⑧
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	前・後期ともに單元ごとに問題演習なども含めてテキストを中心に進めていく。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学臨床論Ⅲと密接に関係している。そのため、臨床論Ⅰの東洋医学的視点と臨床論Ⅲの西洋医学的視点を自分の中でしっかりと紐づけてまとめること。適宜質問があれば、授業後でもいいので聞いてください。
テキスト・参考書	教科書中心に進めていきます。

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	按摩マッサージ指圧理論	曜日・時間	火曜日 14:40～

【授業概要・目標】 手技の変遷や特性、治効理論を理解し、自身の技術をより深化させる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あま指の意義と沿革など
2	基本手技の作用など①
3	基本手技の作用など②
4	生体作用の機転
5	循環系に及ぼす作用
6	神経系に及ぼす作用
7	皮膚、関節、呼吸器等に及ぼす作用
8	あま指の治療効果
9	あま指の治療効果
10	あま指の応用分野
11	あま指の応用分野
12	あま指の治効理論
13	あま指の治効理論その他
14	内臓一体表反射
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	レイリー現象、サイバネティクス
2	ゲートコントロールセオリー、脳内ホルミネ
3	圧反射, 国家試験対策
4	古法按摩,按摩手引,国家試験対策
5	カイロプラティックなど
6	その他の手技療法,国家試験対策
7	その他の手技療法,国家試験対策
8	その他の手技療法,国家試験対策
9	物理療法等と国家試験対策
10	物理療法等と国家試験対策
11	物理療法等と国家試験対策
12	物理療法等と国家試験対策
13	物理療法等と国家試験対策
14	物理療法等と国家試験対策
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	各期末試験にて評価する
授業の進め方	教科書を中心にパワーポイント等を使用して進める
注意 (学生に望むこと)	国家試験科目である。8割は正答できるように日ごろから教科書を見るよう予習復習をしておくこと。
テキスト・参考書	あんまマッサージ指圧理論

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	宮田 正則 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年A組
科目名	按摩マッサージ指圧臨床実技	曜日・時間	水曜日 9:00～

【授業概要・目標】

実技に多くの時間使いたい。教科書の他、プリントも活用する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 治療概論
2	各疾患の治療法(腰下肢痛)①
3	各疾患の治療法(腰下肢痛)②
4	各疾患の治療法(膝痛)
5	各疾患の治療法(肩こり・頸肩腕痛)
6	各疾患の治療法(肩関節痛・上肢痛)
7	各疾患の治療法(頭痛)
8	各疾患の治療法(顔面痛・顔面麻痺)
9	各疾患の治療法(眼性疲労)
10	各疾患の治療法(鼻閉・鼻汁)
11	各疾患の治療法(めまい・耳鳴りと難聴)
12	各疾患の治療法(咳嗽・喘息・喘鳴)
13	各疾患の治療法(再度行いたい施術を練習)
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	各疾患の治療法(胸痛・腹痛)
2	スポーツ医学におけるあま指療法①
3	スポーツ医学におけるあま指療法②
4	老年医学におけるあま指療法
5	各疾患の治療法(運動麻痺)
6	各疾患の治療法(高血圧症・低血圧症)
7	各疾患の治療法(食欲不振・悪心嘔吐)
8	各疾患の治療法(便秘と下痢)
9	各疾患の治療法(月経異常・排尿障害)
10	各疾患の治療法(のぼせと冷え)
11	各疾患の治療法(不眠・疲労と倦怠)
12	各疾患の治療法(小児の症状)
13	各疾患の治療法(再度行いたい施術を練習)
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	出席、授業態度及び実技試験の結果により総合的に判断
授業の進め方	実技中心とする。一方的にならず対話形式で行う
注意 (学生に望むこと)	反復練習
テキスト・参考書	東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編)

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	柏倉 利一 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年A組
科目名	鍼灸臨床実技Ⅱ	曜日・時間	水曜日 10:40～

【授業概要・目標】

東洋医学臨床論(はりきゅう編)の東洋医学的臨床実技編であり、基礎応用力を身につける。東洋医学に基づく病態把握から病因病機を理解し、治療方針を導く臨床力を国家試験に符合させて習得する。

<前期>	
回	授業テーマ
1	ガイダンス
2	肝系統の症候治療
3	肝系統の症候治療
4	心系統の症候治療
5	心系統の症候治療
6	脾系統の症候治療
7	脾系統の症候治療
8	肺系統の症候治療
9	肺系統の症候治療
10	腎系統の症候治療
11	腎系統の症候治療
12	臓腑全般の症候治療
13	筆記試験
14	臓腑全般の症候治療
15	評価点検

<後期>	
回	授業テーマ
1	肝系統の症候治療
2	肝系統の症候治療
3	心系統の症候治療
4	心系統の症候治療
5	脾系統の症候治療
6	脾系統の症候治療
7	肺系統の症候治療
8	肺系統の症候治療
9	腎系統の症候治療
10	腎系統の症候治療
11	全身・女性・小児・老年・その他症候治療
12	全身・女性・小児・老年・その他症候治療
13	筆記試験試験
14	全身・女性・小児・老年・その他症候治療
15	評価点検

評価方法	筆記試験と実技能力の総合評価
授業の進め方	東洋医学臨床論(はりきゅう編)を学生同士の演習にて学習強化する。
注意 (学生に望むこと)	鍼灸臨床は、東洋医学概論および東洋医学臨床論(はりきゅう編)を基礎にして臨床力を身につけるため、当該教科の復習を重ねて、臨床に活かして下さい。
テキスト・参考書	東洋療法学校協会編. 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編) 第3版. 南江堂, 2022 東洋療法学校協会編. 新版 東洋医学概論. 医道の日本, 2023

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	臨床医学各論Ⅱ	曜日・時間	水曜日 13:00～

【授業概要・目標】 現代医学的な観点からの臨床医学について、各疾患の疫学・病因・病態生理・症状・診断・治療などを理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第8章 総論
2	第8章 関節疾患
3	第8章 骨代謝性疾患・骨腫瘍
4	第8章 筋・腱疾患
5	第8章 形態異常
6	第8章 脊椎疾患・脊髄損傷
7	第8章 外傷
8	第8章 その他の整形外科疾患
9	第11章 脳血管疾患
10	第11章 感染性疾患
11	第11章 脳・脊髄腫瘍
12	第11章 基底核変性疾患
13	第11章 その他の変性疾患
14	第11章 認知症性疾患
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第11章 筋疾患
2	第11章 運動ニューロン疾患
3	第11章 末梢神経性疾患
4	第11章 神経痛・機能性疾患
5	第12章 リウマチ性疾患
6	第12章 膠原病
7	第13章 小児科疾患
8	第13章 一般外科
9	第13章 麻酔科
10	第13章 婦人科疾患
11	第13章 皮膚科疾患
12	第13章 眼科疾患
13	第13章 耳鼻科疾患
14	第13章 精神科疾患・心療内科
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	教科書に基づき進め、単元ごとに問題演習を行う。
注意 (学生に望むこと)	疾患(正常な機能を損なっている状態)を理解するためには、正常な状態を理解していることが望ましいため、『解剖学』、『生理学』を復習してから臨むこと。
テキスト・参考書	『臨床医学各論 第2版』(医歯薬出版株式会社)

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	曜日・時間	水曜日 14:40～

【授業概要・目標】

臓腑と関連する症候と女性特有の症状について、西洋医学・東洋医学それぞれに基づく病態把握と治療法を学習することで臨床に活かせるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第2章第2節 1-I 眼精疲労
2	第2章第2節 1-II 気分障害
3	第2章第2節 1-III めまい
4	第2章第2節 2-I 動悸・息切れ
5	第2章第2節 2-II 血圧異常
6	第2章第2節 2-III 睡眠障害
7	第2章第2節 3-I 食欲不振
8	第2章第2節 3-II 肥満
9	第2章第2節 3-III やせ
10	第2章第2節 3-IV 悪心・嘔吐
11	第2章第2節 3-V 便秘
12	第2章第2節 3-VI 下痢
13	第2章第2節 3-VII 歯痛
14	第2章第2節 4-I 咳嗽・喀痰
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第2章第2節 4-II 呼吸困難
2	第2章第2節 4-III 鼻閉・鼻汁
3	第2章第2節 5-I 脱毛症
4	第2章第2節 5-II 耳鳴り・難聴
5	第2章第2節 5-III 排尿障害
6	第2章第2節 5-IV 勃起障害
7	第2章第5節 I 概説
8	第2章第5節 II 月経異常
9	第2章第5節 III 性器出血
10	第2章第5節 IV 帯下
11	第2章第5節 V 不妊症
12	第2章第5節 VI つわり
13	第2章第5節 VII 逆子
14	第2章第5節 VIII 乳汁分泌不全
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	教科書に基づき進め、单元ごとに問題演習を行う。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学に基づく病態把握・選穴には、『東洋医学概論』、『経絡経穴概論』の理解が必須のため復習して臨むこと。
テキスト・参考書	『新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)』(南江堂)

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	塚本 直太 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学臨床Ⅲ	曜日・時間	木曜日 9:00～

【授業概要・目標】	
前期:各論第1節「疼痛」の範囲より、腰下肢疾患の病態把握及び治療を理解する。	
後期:各論第2節「臓腑と関連する症候」・第4節「その他の疾患」・第7節「老年特有の症候」について理解する。該当範囲が修了したら国家試験の対策授業とする。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	P127 第1節 腰下肢痛-①
2	P127 第1節 腰下肢痛-②
3	P136 第1節 腰痛-①
4	P136 第1節 腰痛-②
5	P146 第1節 下肢痛-①
6	P146 第1節 下肢痛-②
7	P154 第1節 膝痛-①
8	P154 第1節 膝痛-②
9	P164 第1節 胸痛-①
10	P164 第1節 胸痛-②
11	P170 第1節 腹痛-①
12	P170 第1節 腹痛-②
13	P405 第4節 顔面麻痺
14	P413 第4節 歩行異常
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	P422 第4節 口渇
2	P432 第4節 出血傾向
3	P529 第7節 老年特有の症候
4	国家試験対策問題①
5	国家試験対策問題②
6	国家試験対策問題③
7	国家試験対策問題④
8	国家試験対策問題⑤
9	国家試験対策問題⑥
10	国家試験対策問題⑦
11	国家試験対策問題⑧
12	国家試験対策問題⑨
13	国家試験対策問題⑩
14	国家試験対策問題⑪
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験で評価する。定期試験の結果が及第点未満の者に対しては小テストの結果を加味する。
授業の進め方	教科書に沿った内容で講義を進める。授業はシラバスの順序通りに行われるわけではないので注意すること。
注意 (学生に望むこと)	能動的に学ぶ姿勢を身につけること。
テキスト・参考書	新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	長岡 靖彦／古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学応用概論	曜日・時間	木曜日 10:40～

【授業概要・目標】 前期:2学年までに修得した科目について、要点を確認し鍼灸臨床に応用できるようになる。 後期:あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師として必要な基本的知識の要点を確認し、総合的な判断ができるようになる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	基礎分野の要点確認(1) 医療概論、衛生学・公衆衛生学 1/2
3	基礎分野の要点確認(2) 医療概論、衛生学・公衆衛生学 2/2
4	基礎分野の要点確認(3) 解剖学 1/3
5	基礎分野の要点確認(4) 解剖学 2/3
6	基礎分野の要点確認(5) 解剖学 3/3
7	基礎分野の要点確認(6) 生理学 1/3
8	基礎分野の要点確認(7) 生理学 2/3
9	基礎分野の要点確認(8) 生理学 3/3
10	基礎分野の要点確認(9) 病理学概論 1/2
11	基礎分野の要点確認(10) 病理学概論 2/2
12	専門基礎分野の要点確認(1) 臨床医学総論1/2
13	専門基礎分野の要点確認(2) 臨床医学総論2/2
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検 前期復習(2)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	専門分野の要点確認(1) 東洋医学概論 1/4
2	専門分野の要点確認(2) 東洋医学概論 2/4
3	専門分野の要点確認(3) 東洋医学概論 3/4
4	専門分野の要点確認(4) 東洋医学概論 4/4
5	専門分野の要点確認(5) 経絡経穴概論 1/4
6	専門分野の要点確認(6) 経絡経穴概論 2/4
7	専門分野の要点確認(7) 経絡経穴概論 3/4
8	専門分野の要点確認(8) 経絡経穴概論 4/4
9	基礎分野の要点確認(1) 臨床医学各論 1/5
10	基礎分野の要点確認(2) 臨床医学各論 2/5
11	基礎分野の要点確認(3) 臨床医学各論 3/5
12	基礎分野の要点確認(4) 臨床医学各論 4/5
13	基礎分野の要点確認(5) 臨床医学各論 5/5
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検 基礎・専門基礎分野の要点確認(15)

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	問題演習を中心として行う。
注意 (学生に望むこと)	復習(曖昧な記憶を教科書で補完すること)を効率的に行って欲しい。
テキスト・参考書	各科目の教科書

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	吉本 豊 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年A組
科目名	鍼灸臨床実技 I	曜日・時間	木曜日 13:00～

【授業概要・目標】

患者様との接遇・診察・検査・診断・説明・治療・アドバイスなどを臨床上の治療に適応できるだけの能力を、症例を実践しながら身につけていくことを目的に授業を進めていく。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 検査法確認
2	膝部疾患症例1回目
3	膝部疾患症例2回目
4	膝部疾患症例3回目
5	殿下肢部疾患症例1回目
6	殿下肢部疾患症例2回目
7	殿下肢部疾患症例3回目
8	腰部疾患症例1回目
9	腰部疾患症例2回目
10	腰部疾患症例3回目
11	腰下肢部疾患症例1回目
12	腰下肢部疾患症例2回目
13	腰下肢部疾患症例3回目
14	前期復習
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	頸部疾患症例1回目
2	頸部疾患症例2回目
3	頸部疾患症例3回目
4	肩部疾患症例1回目
5	肩部疾患症例2回目
6	肩部疾患症例3回目
7	肘部疾患症例1回目
8	肘部疾患症例2回目
9	肘部疾患症例3回目
10	手部疾患症例1回目
11	手部疾患症例2回目
12	手部疾患症例3回目
13	ランダム症例
14	後期復習
15	評価点検

評価方法	患者様に対して適正な接遇・対応が出来ているかを評価する
授業の進め方	臨床で必要な能力をあらゆる方向から指導いたします
注意 (学生に望むこと)	患者様へポデーランゲージを含めて、表情など意識して表現できるように注意する
テキスト・参考書	症例プリント

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 光恵 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年A組
科目名	鍼灸臨床実技Ⅲ	曜日・時間	木曜日 14:40～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な施術に関する知識と技能について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実技のオリエンテーション
2	前年度復習および鍼灸実技の流れ①
3	鍼灸実技とカルテ作成①
4	鍼灸実技とカルテ作成②
5	鍼灸実技とカルテ作成③
6	鍼灸実技とカルテ作成④
7	鍼灸実技とカルテ作成⑤
8	特殊鍼法①
9	特殊鍼法②
10	はりきゅう実技審査練習(1)
11	はりきゅう実技審査練習(2)
12	はりきゅう実技審査練習(3)
13	はりきゅう実技審査練習(4)
14	前期実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	腰部疾患に対する実技訓練
3	鍼灸実技とカルテ作成①
4	肩関節疾患に対する実技訓練
5	鍼灸実技とカルテ作成②
6	頸上肢痛に対する実技訓練
7	鍼灸実技とカルテ作成③
8	膝関節疾患に対する実技訓練
9	鍼灸実技とカルテ作成④
10	はりきゅう応用治療実技①
11	はりきゅう応用治療実技②
12	はりきゅう応用治療実技③
13	後期実技試験
14	後期実技試験
15	評価点検

評価方法	出席・定期試験により評価する。
授業の進め方	総合臨床治療技術の習得および認定実技試験の合格を目指す。
注意 (学生に望むこと)	施術者・患者役となるので自己健康管理に留意すること。
テキスト・参考書	なし

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	柏倉 利一 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学各論Ⅱ	曜日・時間	金曜日 10:40～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な東洋医学の概念、診断法および治療法等の基本的事項について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	標本と主格
2	第2節 論治
3	論治1
4	論治2
5	論治3
6	論治4
7	論治5
8	論治6
9	治療法の概要
10	治療法の概要
11	治療法の概要
12	治療法の概要
13	治療法の概要
14	治療法の概要
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	弁症の手順
2	弁症の手順
3	練習問題1
4	練習問題2
5	練習問題3
6	練習問題4
7	練習問題5
8	練習問題6
9	練習問題7
10	練習問題8
11	練習問題9
12	練習問題10
13	練習問題11
14	練習問題12
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前・後期筆記試験による。
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、参考書も使用、学習状況により内容の変更あります。
注意 (学生に望むこと)	1、2年生時の学習内容がベースになるので復習してくること。
テキスト・参考書	教科書、東洋医学概論、参考文献・鍼灸真髓・長野式

2026年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	鍼灸理論 I	曜日・時間	後期) 金曜日 13:00～、14:40～

【授業概要・目標】
 国試レベルの基礎応用と対応力を身につける。また、これまでの研究で明らかになっていることを紹介し、「鎮痛」を通して鍼灸の治効機序を学習していく。鍼灸の治効機序についてメディカルスタッフと議論できることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章 概論(エビデンス 他)
2	第1章 概論 経絡・経穴の基礎研究
3	第1章 概論 鍼灸施術の定義・鍼灸治療の特徴
4	第2章 鍼の基礎知識 用具・古代九鍼 第3章 刺鍼の方式と術式
5	第4章 特殊鍼法
6	第5章 灸の基礎知識 第6章 灸術の種類
7	第7章 リスク管理
8	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: はじめに-治療的作用・学説
9	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: はじめに-学説・経絡
10	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-軸索反射
11	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-運動系の調節 反射
12	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-運動系の調節 Ib抑制
13	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-内臓系の調節 上脊髄
14	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-内臓系の調節
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 感覚 体性感覚 ホリモーダル受容器
2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 感覚 体性感覚 鍼通電
3	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 感覚 体性感覚 痛覚
4	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 感覚 体性感覚 温度覚 触覚他
5	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 感覚 熱傷(炎症) 生体防御
6	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 感覚 体表の反応 トリガーポイント
7	第9章 鍼灸治効機序: 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 全身性鎮痛 ストレス誘発鎮痛
8	第9章 鍼灸治効機序: 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 全身性鎮痛 下行性痛覚抑制
9	第9章 鍼灸治効機序: 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 全身性鎮痛 内因性オピオイド/DNIC
10	第9章 鍼灸治効機序: 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 脊髄分節性鎮痛
11	第9章 鍼灸治効機序: 鍼鎮痛 末梢性鎮痛/個人差
12	第9章 鍼灸治効機序: 循環系/運動系
13	第9章 鍼灸治効機序: 消化器系/泌尿器系他
14	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験、出席
授業の進め方	教科書を補足する資料を用いて解説する。
注意 (学生に望むこと)	鍼灸治効機序は、生理学が主体となっているため、生理学の復習を重ね、基礎を身につけて下さい。
テキスト・参考書	東洋療法学校協会編. はりきゅう理論 第3版. 医道の日本, 2021. 東洋療法学校協会編. 生理学 第3版. 医歯薬出版, 2014.

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	業務内容
臨床医学各論Ⅱ	3	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
リハビリテーション医学	3	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧理論	3	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅰ	3	60	古川 雄一郎	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅱ	3	30	伊東 太郎	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅱ	3	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅰ	3	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅱ	3	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅲ	3	60	塚本 直太	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学応用概論	3	60	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧臨床実技	3	60	宮田 正則	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅰ	3	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅲ	3	60	佐藤 光恵	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅳ	3	45	塚本 直太	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			高橋 はるか	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
合計		855			